

2014年度

S 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～5を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろせ。

1. 平城京の跡から出土したいくつかの邸宅跡のうち、最もよく知られているものは長屋王の邸宅跡であろう。平城京は中国の都市に倣^{なら}って造られ、中央を南北に朱雀大路が通っている。長屋王の邸宅跡が発掘されたのは、平城宮の東南に隣接した位置であり、朱雀大路の東側の区域である（イ）京である。藤原不比等没後、長屋王は政治の実権¹⁾を握ったが、藤原氏の陰謀によって滅亡に追いやられた。

長屋王の邸宅は、広大な敷地にいくつもの建物を配置したものであったと推定される。奈良時代にはそうした建物をいくつも持つような貴族の生活も繰り広げられた一方、庶民の生活は、（ロ）が筑前守の時に詠んだとされる貧窮問答歌の「伏^{ふせ}廬^いの 曲^{まが}廬^いの 内に 直^{ひたつち}土^{つち}に 藁^{わら}解^とき敷^ききて 父母^{ちち}は 枕^{まくら}の方^{かた}に 妻^{つま}子^こどもは 足^{あし}の方^{かた}に 圍^{かこ}み居^いて 憂^{さまよ}へ吟^{いん}ひ」（『万葉集』、原万葉がな）という言葉に描かれているように、土間の上に藁を敷いて寝起きする「直土」の生活であったと考えられる。

2. 藤原北家は、9世紀から10世紀を通して他氏排斥を進め、その勢力を不動のものとし²⁾た。藤原道長が「此世をば 我世とぞ思ふ 望月の かけたる事も 無と思へば」と詠んだのは、土御門殿^{つちみかどどの}という屋敷であったが、この屋敷はいったん火災に遭い、上記の歌が詠まれる数ヶ月前に再建されたところであった。再建にあたっては、（ハ）の日記である『小右記』に記されたように、「土御門殿の（ニ）一間を以て、諸の受領に配し営ましむと云々。いまだ聞かざるの事なり。造作の過差^{おつせき}、往跡^{むかし}に万倍す」（原漢文）と受領たちが競って造営を分担し、源頼光³⁾が家中の家具、調度を献上したことで知られている。

この土御門殿だけでなく、藤原北家は東三条殿など複数の屋敷を持っていた。こうした平安時代の上流貴族の屋敷は、（ニ）造と呼ばれるようになった。その内部には壁などの固定した間仕切りはほとんどなく、屏風や几帳^{きちよう}など可動式の調度が間仕切りとして用いられ、畳も人の居るところに動かして使うものであった。

平安時代には、住まいや儀式の場である屋敷の他にも、多くの寺院が造営された。現在も京都府宇治市にある平等院は、藤原頼通が父の藤原道長から受けついで別荘を寺に改めたものであった。当時（ホ）仏を信仰する浄土教が広まり、貴族たちの間では極楽往生を願って（ホ）堂を建立することが流行したが、平等院鳳凰堂はその代表的な建築物の1つである。

3. 仏教寺院の各建築の配置様式のことを（ヘ）配置と呼ぶ。仏教寺院が造営されるようになったはじめのころは、蘇我氏が建てた飛鳥寺（法興寺）に見られるように仏陀の遺骨をおさめる塔が（ヘ）配置の中心に位置づけられていた。やがて仏像（本尊）に信仰の対象が移ってくると、本尊をまつる金堂を中心とした造営が見られるようになっていった。

薬師寺は、当初藤原京で造営され、8世紀前半になって平城京に移されたものである。薬師寺東塔は、藤原京で作られたものを移築したという説と、平城京で新たに作られたとの説があるが、実際には三重の塔であるものが、図1の（ト）によって六重の塔に見える工夫がこらされており、白鳳文化の代表的な仏教建築として知られている。

東大寺は、8世紀半ばに創建されて以降、幾度も火災に遭ってきた。特に、源平の争乱の最中に起こった平氏の焼き打ちと、戦国時代の争乱の中で起こった松永久秀らの戦闘の際の兵火によって、大きな損傷を受けた。平氏の焼き打ち後の修理・再建にあたっては、中国の宋の様式が採用された。東大寺南大門は、その大仏様（天竺様）と呼ばれる建築様式の特徴をよく伝えており、その門には、運慶・快慶らが造った像が立っている。鎌倉幕府の執権北条時頼が、宋から僧侶を招き創建した建長寺でも、創建時には、宋風の建築様式が採用されたと考えられている。

4. 室町幕府の将軍の本邸は、将軍の住まいであると同時に政治の場でもあった。室町時代を通して複数設けられるとともに、同じ場所であっても将軍の代替わりによって建物の新築が行われた。「花の御所」とも呼ばれた室町殿は、3代将軍足利義満によって新たに建てられたもので、6代将軍足利義教も本邸としたが、義教もここに移る際には建物を新築している。

それに対して、足利義満の北山山荘（北山殿）や足利義政の東山山荘（東山殿）は1代限りのものであった。義満は将軍を辞した後、1397年から造営した北山山荘を拠点として政治を動かし、日明貿易も開始した。東山山荘は、義政の死後には寺院に改められたが、のちに銀閣と呼ばれるようになる観音殿や、義政の持仏堂兼書斎として建てられた東求堂と呼ばれる建物が残されている。特に、図2に見られるように、東求堂内には畳4畳半で付書院や違い棚がある（チ）という部屋がつけられた。この部屋の、畳を敷き詰め、天井をはる様式は、前述の（ニ）造からの大きな変化であり、今日の和風建築につながる様式の登場を意味していた。北山山荘、東山山荘では自然景観や建築が一体化された作庭が行われたが、室町時代は作庭の思想と技術が大きく進んだ時代でもあった。足利尊氏が帰依し、天竜寺を開いたことで知られる（リ）の作庭、と

りわけ西芳寺庭園は、東山山荘の庭園などにも影響を及ぼしたことで知られている。

5. 江戸城は、12世紀に江戸氏が居館を構えたのが最初で、15世紀半ばには扇谷上杉氏の重臣であった太田道灌が築城した。上杉氏は鎌倉公方を補佐する関東管領を世襲したが、15世紀には様々な対立が起こり関東の情勢は著しく不安定になっていった。太田道灌の江戸城築城も、敵対する勢力に備えるために行われたものである。のちに江戸城は後北条氏の支城の1つとなったが、1590年に後北条氏が滅ぼされ、その旧領が徳川家康に与えられた。家康は江戸城を居城に定め、城下町の建設と江戸城の修築に着手していった。江戸幕府が開かれると、幕府は江戸市街の拡張工事と江戸城の大修築を順次進め、江戸城は五層の天守閣を持つ城郭となった。江戸城は江戸幕府の将軍の居城として引き継がれていくことになるが、たびたび火災に見舞われ修築工事も繰り返されていった。特に1657年に起きた、振袖火事とも呼ばれた（ヌ）の大火の被害は大きく、この時に焼失した天守閣は再建されないまま現在に至っている。

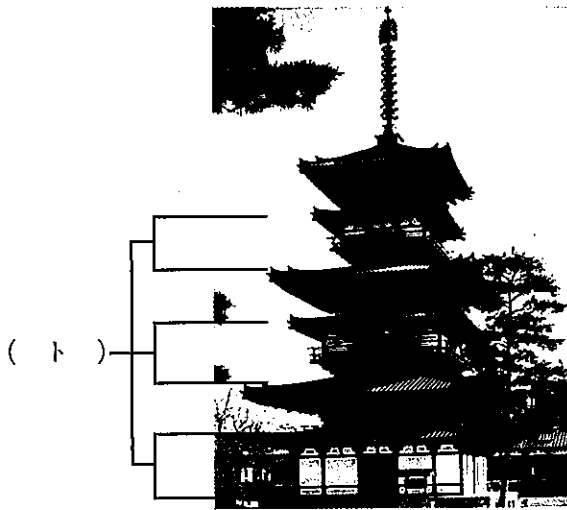


図1

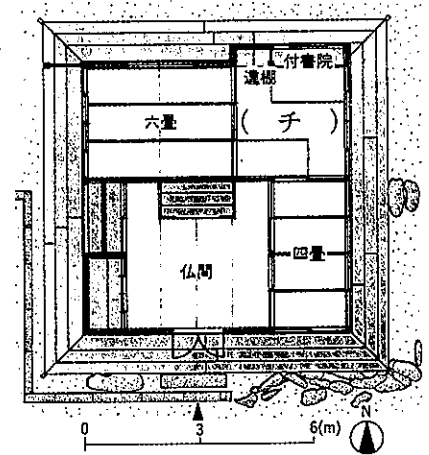


図2

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. この人物が実権を握っている間に起こったこととして正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 渤海が日本に使節を派遣し国交を求めた
 - b. 淳仁天皇が擁立されて即位した
 - c. 大宝律令が制定された
 - d. 唐から帰国した吉備真備や玄昉らが政治顧問として登用された
2. これに関する出来事について、もっとも古いものから年代順に並んでいる組み合わせはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 阿衡の紛議→承和の変→安和の変→応天門の変
 - b. 安和の変→阿衡の紛議→応天門の変→承和の変
 - c. 応天門の変→安和の変→承和の変→阿衡の紛議
 - d. 承和の変→応天門の変→阿衡の紛議→安和の変
3. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. その弟の源頼信は、平忠常の乱を鎮圧した
 - b. その子の源頼義は、後三年合戦で、安倍頼時・貞任による反乱を鎮圧した
 - c. その父の源満仲は、藤原純友の乱を鎮圧した
 - d. その孫の源義家は、保元の乱の時に後白河天皇と結び勝利した
4. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 蘇我入鹿は物部守屋を滅ぼし、崇峻天皇を暗殺して政治権力を掌握した
 - b. 蘇我倉山田石川麻呂は中大兄皇子に協力して蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼした
 - c. 蘇我馬子は娘の堅塩媛を欽明天皇の後とし、推古天皇らの外祖父となった
 - d. 蘇我馬子は山背大兄王を滅ぼした
5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. この文化を代表する絵画の1つに、高松塚古墳壁画がある
 - b. この文化を代表する仏教建築の1つに、唐招提寺金堂がある
 - c. 室生寺や神護寺などの山岳寺院もさかんに建立された
 - d. 薬師寺僧形八幡神像に代表される神像彫刻が隆盛した

6. この時期の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。

- a. 讃岐屋島の戦い b. 寿永二年（十月）の宣旨 c. 福原遷都
d. 源義仲の入京 e. 以仁王らの挙兵

7. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 安芸の国人からおこり陶晴賢から国を奪った
b. 近江で守護の京極氏を圧倒した
c. 美濃で守護の土岐氏を滅ぼした
d. 三好長慶の没後、室町幕府の実権をめぐって三好三人衆と争った

8. この像はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a.



b.



c.



d.



9. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 元から再三にわたって恭順を求められてきたが、これを拒否した
b. 評定衆の裁判実務を助けるために、その下に新たに引付衆を置いた

- c. 源頼家を幽閉し、源実朝を次の将軍にすえた
 - d. 和田義盛を滅ぼし、侍所別当を兼務した
10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1325年に、その修造をはかるため、鎌倉幕府が元に建長寺船を派遣した
 - b. 1571年に、織田信長の焼き討ちに遭った
 - c. 創建に際して宋から招かれた僧侶は栄西である
 - d. 室町幕府のもとで五山の制が確立すると、鎌倉五山の第3位となった
11. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. この人物が将軍に在位している間に山城の国一揆が始まった
 - b. 山名氏一族の内紛に介入して、山名氏清を滅ぼした
 - c. 有力守護の大内義弘を攻め滅ぼした
 - d. 有力守護の1人である赤松満祐によって殺害された
12. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 遣明船は、明から交付された勘合と呼ばれる証票を持参することを義務づけられていた
 - b. 三浦の乱をきっかけとして、この貿易は次第に衰えた
 - c. 15世紀後半からこの貿易の実権をめぐって、堺商人と結んだ大内氏と博多商人と結んだ細川氏とが争った
 - d. 4代将軍足利義尚の時に日明貿易は一時中断した
13. これは足利尊氏が上洛する際に、その子義詮を鎌倉にとどめたことに始まるとされる。その後、尊氏は義詮を上京させ、代わりに義詮の弟を鎌倉に下し、以後この人物の子孫がこれを世襲した。この人物の名をしるせ。
14. これに関する出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。
- a. 足利政知が室町幕府から堀越に送り込まれた
 - b. 足利成氏が上杉氏から追放され古河に移った
 - c. 足利持氏が滅ぼされた
 - d. 上杉禪秀の乱が起こった
 - e. 結城氏朝が拳兵したが敗れた

Ⅱ. 次の文1・2を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 鎌倉時代後期から室町時代にかけて、農民らは、荘園や公領のなかで惣村をつくり、自治的な活動を行うようになった。また、農村に商品経済が浸透し、農民が高利貸への債務をかかえる場合が増えてくると、惣村同士が連合し、徳政一揆をおこすこともあった。徳政一揆は幕府の政策にも影響を及ぼし、幕府は、(イ)とよばれる所定の金銭を納入すれば、債権の確認ないし債務の破棄を認める方式を作り出した。

1467年に始まり京都を焼け野原にした応仁の乱を契機に、戦乱は全国に拡がり、下剋上の風潮が強まった。1488年におこった加賀の一向一揆は、本願寺の(ロ)の御文による布教で広まった浄土真宗本願寺派の勢力を背景としており、一向一揆は各地の戦国大名を恐れさせた。

その後、織豊政権のもとで、農村は再編成されていった。秀吉が進めた太閤検地では、土地の面積表示を町・段(反)・畝・歩に統一し、1段(反) = (ハ)歩とすることを決め、柵も京柵に統一して、大名の領地の大きさを石高であらわした。

江戸幕府成立後も、幕府や大名は検地を行って1筆ごとの土地の所有関係や村の石高を確定した。村は幕藩体制における支配の末端に位置づけられたが、他方で農民の生産と生活を支える自治組織でもあった。農民は、村請制のもとで年貢や諸役を負担したが、厳しい年貢の徴収に対しては一揆をおこすこともあった。17世紀後半においては、(ニ)型一揆とよばれる、村役人が農民の利害をまとめて直訴する一揆が各地で見られるようになり、その後、村役人とともに多数の農民も参加する一揆が行われた。

村内部における階層分化も、村社会を大きく変えていくこととなった。一部の有力農民は、質流れした土地を集積し、豪農とよばれる地域社会の運営の担い手に成長したが、文化・文政期には没落する農民が増え、荒廃地も増大した。諸藩においては、新たな経済活動の導入や財政再建策が試みられたものの、主として農業生産に基盤を置く幕藩体制は行き詰まっていった。

2. 明治政府の安定にとっての課題の1つは、財政的基盤をいかに作るかという点であった。そこで行われた改革が、地租改正である。これとともに、財政負担となっていた秩禄を処分するために、1876年に(ホ)⁴⁾証書を交付し秩禄の廃止を定めた。これらの政策により明治政府の財政は安定したが、農村における実質的な負担は従来の年貢と変わらない場合が多かった。地租改正に加え、農村に深刻な打撃を与えたのは、松方正義⁵⁾が大蔵卿に就任してから本格化した財政の緊縮政策であった。これにより、土地を手放

す農民が増える一方、小作料の収入に依存する寄生地主が成長を遂げ、近代の農村社会においては貧富の差が顕著となった。政府は、農民の組織化を通じて農家経営の維持を図ろうとして1900年に（ヘ）法を定め、購買や販売などを協同で行う協同組合の設立を押し進めた。

日露戦争後における増税によって、農村は疲弊の度合いを強めた。これに対して政府は、⁶⁾内務省が中心となり、国民に勤労・節約を奨励するとともに行政単位としての町村の財政力を高めようとする（ト）運動をすすめた。日露戦争後に長らく続いた不況を一変させたのが、第一次世界大戦であった。第一次世界大戦期の日本経済は著しく発展し⁷⁾工場労働者も増加したが、工業の発展に比べ農業の停滞は続いた。

第一次世界大戦後においては、小作料の減免を求める小作争議が各地で頻発し、全国的な農民組合も結成された。農民運動に限らず、さまざまな社会運動が勃興したのもこの時期の特徴であった。社会的な差別の撤廃を求める被差別部落の人々による運動も本格化し、1922年に、西光万吉らによって全国（チ）が結成された。

しかし、1930年代に入ると、昭和恐慌によって農村は深刻な不況にみまわれた。石原莞爾⁸⁾らが中心となっておこした柳条湖事件の後、軍は戦域を拡大し、世論やマスコミの多くも軍の行動を支持した。二・二六事件では農村の恐慌対策を財政面から進めていた（リ）蔵相らが殺害され、以後、軍部の政治的発言権はさらに強まっていった。

第二次世界大戦後の改革は、日本の農村を大きく変えることになった。G H Q⁹⁾は日本政府が準備した第一次農地改革案を不十分な点が多いとし、G H Qの勧告案に基づき第二次農地改革が実施された。これによって、小作地は大幅に減少し、農民の生産意欲が高まり、農業生産性の向上につながった。G H Qは、戦前日本の国内市場の狭さを解消するために労働改革も必要と考え、労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障した（ヌ）法などの労働三法が制定された。

1950年代半ば以降、日本は高度経済成長の時代を迎え、人々の生活スタイルは大きく¹⁰⁾変化した。農村部から大都市部への人口移動が続き、農村部の過疎化が深刻な問題となった。そのため、政府が主導する地域開発を誘致しようと、多くの地方公共団体は政府への陳情を繰り返した。（ル）首相は「列島改造」を掲げ、日本各地に生活環境を整備した新しい工業都市を建設し、それらを高速交通網で結ぶことを主張したが、この計画は具体化する前から企業による土地投機をうみ、インフレを加速させた。

1970年代に入って、米（コメ）の過剰生産への対策として政府は（ヲ）¹¹⁾政策と呼ばれるコメの生産調整を開始した。それでもなお国内産米は余るようになり、その一方で食糧管理制度の枠内でコメの自由流通が進んだ。1980年代に入ると日本の対米貿易黒

字は拡大し、アメリカは日本に対し農産物の輸入自由化を強く求めるようになった。1985年には先進5カ国財務相・中央銀行総裁会議（G5）の協議に基づきドル高の是正が図られたため、円高は加速した。しかし、その後も日本の対米貿易黒字は解消されず、政府は1993年にコメ市場の部分開放を決定した。経済の東京一極集中の傾向のなかで、¹²⁾農山村からの人口流出は止まらず、1990年代には「限界集落」という語が登場するに至った。

A. 文中の空所(イ)～(ヲ)それぞれにあてはまる適当な語句または数字をしるせ。

B. 文中の下線部1)～12)にそれぞれ対応する次の問1～12に答えよ。

1. この時代に描かれた絵画でないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a.



b.



c.



d.



2. この時期の出来事に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 越後で、国学者生田万が陣屋を襲撃した
 - b. 加茂一揆など、幕領で大規模な一揆が発生した
 - c. 幕府は、治安対策として関東取締出役を設置した
 - d. 幕府は、川越・庄内・長岡 3 藩の封地をそれぞれ入れ替えることを命じた
3. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 佐賀藩では、鍋島直正が均田制を廃止して、町人地主を育成した
 - b. 薩摩藩では、調所広郷を登用し、密貿易によって収入を増やした
 - c. 福井藩では、伊達宗城が商人との関係を利用して、財政再建を図った
 - d. 水戸藩では、藤田東湖を登用し、越荷方を設けて利益をあげた
4. これに関する出来事について、もっとも古いものから年代順に並んでいる組み合わせはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 地券交付の開始→地租改正条例の公布→地租率を 2.5% に修正→伊勢暴動の発生
 - b. 地券交付の開始→地租改正条例の公布→伊勢暴動の発生→地租率を 2.5% に修正
 - c. 地租改正条例の公布→地券交付の開始→地租率を 2.5% に修正→伊勢暴動の発生
 - d. 地租改正条例の公布→地券交付の開始→伊勢暴動の発生→地租率を 2.5% に修正
5. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第 1 回帝国議会の際に、黒田清隆のあとを継いで首相に就いた
 - b. 第 2 回総選挙で、第 1 次松方内閣は内務大臣を中心に選挙干渉を行った
 - c. 第 2 次松方内閣は、自由党と提携して軍備増強のための予算を成立させた
 - d. 第 2 次松方内閣は、憲政党の結成によって総辞職した
6. この時期の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。
- a. 伊藤博文が安重根に暗殺される
 - b. 桂・タフト協定の締結
 - c. 第 3 次日韓協約により韓国内政権を掌握
 - d. 朝鮮総督府の設置
 - e. ハーグ密使事件の発生

7. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 池貝鉄工所が、旋盤の国産化に成功した
 - b. 電力業では、猪苗代・東京間の長距離送電に成功した
 - c. 日本窒素肥料会社が母体となって、朝鮮に化学コンビナートを建設した
 - d. 日本郵船会社が設立され、ボンベイ航路を新たに開設した
8. この人物が執筆した文章（いずれも抜粋、一部表記を改めている）はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 君主主権主義といひ国民主権主義といふは、唯国の憲法上の主義の問題であつて、即ち国の政体の差異に外ならぬ。その何れの主義を取るかを問はず、政治権は常に国家に属する権利であつて、国家のみが統治権の主体である。国民主権主義を取るとしても、国民は国家の機関として統治を行ふのであり、君主主権主義に於いても亦君主は国家の機関として統治の最高の源たるのである。
 - b. 憲法停止 天皇は全日本国民と共に国家改造の根基を定めんが為に天皇大権の発動によりて三年間憲法を停止し兩院を解散し全国に戒厳令を布く。
 - c. 国家独立自衛の道二つあり。一に曰く主権線を守禦し他人の侵害を容れず、二に曰く利益線を防護し自己の形勝を失わず。何をか主権線と謂ふ疆土是なり、何をか利益線と謂ふ隣国接触の勢、我が主権線の安危と緊しく相関係するの区域是なり。……我邦利益線の焦点は実に朝鮮に在り。
 - d. 一、満蒙の価値 政治的／国防上の拠点 朝鮮統治 支那指導の根拠 経済的／刻下の急を救うに足る。
二、満蒙問題の解決 解決の唯一方策は之を我が領土となすにあり。之が為にはその正義なること及之を実行するの力あるを条件とす。
三、解決の時期 国内の改造を先とするよりも満蒙問題の解決を先とするを有利とす。
9. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 経済安定九原則の実行を指令した
 - b. 傾斜生産方式を提案しその実施を指令した
 - c. 政府による神社・神道への支援・監督の禁止を指令した
 - d. 治安維持法や特別高等警察の廃止を指令した

10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1955年における電気冷蔵庫の一世帯あたりの普及率は、50%を超えていた
 - b. 1965年における電気洗濯機の一世帯あたりの普及率は、50%を超えていた
 - c. 1965年におけるカラーテレビの一世帯あたりの普及率は、50%を超えていた
 - d. 1970年におけるルームエアコンの一世帯あたりの普及率は、50%を超えていた
11. この時期の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。
- a. 沖縄の日本復帰が実現した
 - b. 第一次石油危機がおこった
 - c. ニクソンが、金とドルの交換停止を発表した
 - d. 日中平和友好条約が締結された
 - e. ロッキード疑獄がアメリカの上院で暴露された
12. この出来事につながる事項が協議された G A T T の多角的貿易交渉の通称は何か。解答欄にあわせてカタカナ 9 文字で答えよ。

【以下余白】

